用語解説

共同研究編

■フラボノイド

植物に多く含まれる天然の色素成分の一種で、抗酸化作用をもち、体の老化や生活習慣病の予防に役立つとされる。野菜や果物、お茶などに含まれる。

■ルテオリン

植物に含まれるフラボノイドの一種。抗酸化作用や抗炎症作用をもつとされ、野菜やハーブなどに多く含まれる成分で、健康への働きが注目されている。

■ルテオリン類縁体

ルテオリンに化学構造がよく似た化合物の総称。植物に含まれ、抗酸化作用や抗炎症作用など、ルテオリンと共通した生理作用をもつとされる。

■テルペノイド

植物や微生物などがつくる天然化合物の総称。香りの成分として知られ、精油に多く含まれる。抗菌・抗炎症などの作用をもつものもあり、医薬や食品に利用される。